

Object-Based Learning

○オブジェクトベースの学習とは？

オブジェクトベースの学習（OBL）は、オブジェクトを使用してより深い学習体験を提供する生徒中心の学習アプローチです。オブジェクトは学習者の想像力を刺激し、理解を他の文脈や問題に適用するのに役立ちます。文書資料にうまく対応できない生徒の意欲を喚起し、学習を促進します。

オブジェクトには、絵画などの美術作品の他に種々な画像や動画、アニメーション、人工物、記録資料やデジタル表現物、仮想現実環境などさまざまな視覚的解釈が含まれます。これらのオブジェクトを用いた学習体験を通して、生徒は知識の習得や他の分野への応用に興味を持つようになります。

OBL はアクティブラーニングの一形態です。綿密な観察と深い批判的思考を刺激するアクティブラーニングの形式であり、不思議、驚き、好奇心等から生まれる積極的な学習関与がこのアプローチの特色です。また、オブジェクトの使用は、複数の感覚を通して生徒の学習と関与を促進する「思考ツール」としても機能することができます。

生徒はオブジェクトとの相互作用を通して、自身の知識や経験を活用しつつ自分自身の意味を構築し、対話を通して知識と理解を深めるのです。したがってそれは、社会構築主義（構成主義）的アプローチを表しています。

コンラッド・シェーンボルンとトレバー・R・アンダーソンは、アイデアを視覚化する能力はすべての学生にとって重要なスキルであると述べています。OBL は、視覚化を支援し、アイデアを生成するための焦点として機能する学習方法です。

○実践例

ペンシルベニア州立大学は、ペンシルベニア美術館とフィラデルフィア美術館と協力し、オブジェクトベースの学習を使用して、美術史の大学院生に複数の方法で芸術を学ぶことを提供しています。

Object-Based Learning

○アレン記念美術館とオーバーリン大学はオブジェクトベース学習の利点を次のように示しています。

- ・文化の違いへの尊厳を育みます。
- ・観察スキルを向上させます。
- ・ゆっくりと見ることで集中力を養います。
- ・コミュニケーションスキルとチームワークを育成します。
- ・学生間の対話とコラボレーションを促進します。
- ・創造的な問題解決を促進します。
- ・さまざまな視点を尊重します。
- ・学習者としての生徒のアイデンティティを高めます。

○さらに詳しい説明が必要な場合は、Wi-Fiに接続し、以下をクリックしてください。

<https://www.youtube.com/watch?v=IKPnxnEM98o>

